

東洋大学大学院社会学研究科規程

平成29年規程第28号

平成29年4月1日

施行

改正 平成30年4月1日

(趣旨)

第1条 この規程は、東洋大学大学院学則（以下「学則」という。）第4条第5項に基づき、東洋大学大学院社会学研究科（以下「社会学研究科」という。）の教育研究に関し必要な事項を定める。

(人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)

第2条 社会学研究科は、学則第4条の2に基づき、研究科及び各専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を別表第1のとおり定める。

(修了の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針)

第3条 社会学研究科は、学則第4条の3に基づき、各専攻の修了の認定及び学位授与に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針を別表第2のとおり定める。

(教育課程)

第4条 社会学研究科は、学則第5条の2及び第7条に基づき、各専攻の教育課程における科目区分、授業科目及び研究指導科目の名称、単位数、配当学年、履修方法等を別表第3のとおり定める。

(修了に必要な単位等)

第5条 社会学研究科は、学則第12条及び第13条に基づき、各専攻の修了に必要な単位等を別表第4のとおり定める。

(教育職員の免許状)

第6条 学則第19条に基づき、社会学研究科で取得できる免許状の種類及び教科は、次表のとおりとする。

専攻	免許状の種類及び教科	
	高等学校教諭専修免許状	中学校教諭専修免許状
社会学	公民	社会
社会心理学	公民	—

(教育職員の免許状取得のための授業科目及び単位数)

第7条 学則第19条第2項に基づき、社会学研究科で教育職員の免許状を取得しようとする者は、別表第5に定める所定の授業科目の単位を修得し、東洋大学大学院（以下「本大学院」という。）の課程に1年以上在学し30単位以上修得、又は学則第12条に規定する要件を充足しなければならない。

(改正)

第8条 この規程の改正は、学長が社会学研究科委員会の意見を聴き、研究科長会議の審議を経て行う。

附 則

- この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 前項の規定にかかわらず、平成28年度以前の入学生については、第4条別表第3を除き、なお従前の例による。

附 則

- この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 前項の規定にかかわらず、平成29年度以前の入学生については、改正後の第3条及び第3条別表第2並びに第4条別表第3を除き、なお従前の例による。

別表第1 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

社会学研究科

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
【博士前期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 現代社会の諸問題を解決するために幅広く社会学・文化人類学・社会情報学・社会心理学・社会福祉学の成果を活用できる人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 社会学・文化人類学・社会情報学・社会心理学・社会福祉学およびその関連する分野に関する高度な専門知識を基盤に現代社会における諸問題を解明し、実証的研究を行う能力、研究倫理への理解、研究成果を発信する能力を習得させることを教育研究上の目的とする。 【博士後期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 現代社会の諸問題を解決するために幅広く社会学・文化人類学・社会情報学・社会心理学・社会福祉学の成果を高度に活用できる研究者・教育者等の養成を目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 社会学・文化人類学・社会情報学・社会心理学およびその関連する分野に関する高度な専門知識を基盤に、現代社会における諸問題を解明し、実証的研究を行い、研究倫理への理解を持ち、研究成果を発信できる、研究者・教育者として卓越した能力を習得させることを教育研究上の目的とする。

社会学研究科社会学専攻

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
【博士前期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 高度な専門知識・能力を基盤に、現代社会の諸問題を解明し、その解決のための施策を探究する優れた職業人、研究者、教育者の養成を目指す。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 現代社会の多様な問題の解明に係る3つのコース、現代社会学コース、社会文化共生学コース、メディアコミュニケーション学コースを設け、高度な専門知識・能力を身につけた研究者、及び高度な能力を身に付けた専門職業人の養成することを目的とする。 【博士後期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 高度な専門知識・能力を基盤に、現代社会の諸問題を解明し、その解決のための施策を探究し、国際社会でリーダーシップをとって活躍できる優れた職業人、研究者、教育者の養成を目指す。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 現代社会の多様な問題について、倫理性を重視しつつ、理論、実証、応用にわたって、高度な専門的知識・能力により、国際的な視野をもって独創的な研究を行う研究者及び大学教員の養成を目的とする。

社会学研究科社会心理学専攻

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
【博士前期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 社会心理学の多様な知見に基づいて、さまざまな社会状況における人間の認知や行動の特性を深く理解し、よりよい人間社会の構築に貢献できる人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 社会心理学の実証的研究方法を実践的に学び、高い倫理観のもとに人間社会の諸問題を客観的に探究し、研究成果を公表できる能力を習得させることを目的とする。 【博士後期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 社会心理学の高度な専門的知識と研究実践力をもとに、国際社会に目を向けたリーダーシップを備え、研究や教育の場で活躍できる人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 現代の人間社会で生じるさまざまな問題に関心を向け、その理解と解決のために社会心理学の成果を活用し、かつ高い倫理観と国際的な視野のもとに独自の研究を遂行できる能力を習得させることを目的とする。

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

【修士課程】

- (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか

社会や労働、福祉、教育、文化などのシステムについての高度な知識をふまえ、具体的な解決・改善策の提案能力を備えた高度職業人や豊かな知的資源を有する社会人として、さらには学際的な研究者として、福祉社会の実現に貢献する人材を養成することを目的とする。

- (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的

職業や人生経験を通じて形成される人の歩みを「ライフキャリア」と呼び、そのライフキャリアを通じて蓄積される知が、「実践知」である。福祉社会システム専攻では、この実践知を鍛え、ライフキャリアのさらなる展開をめざす実務家や社会人を積極的に受け入れ、現代社会におけるさまざまなレベルでの複雑な事象や社会的な課題を、社会学、社会福祉学を中心とした学際的な視点から検討するために必要な能力を習得させることを目的とする。

別表第2 修了の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針

社会学研究科社会学専攻

1. 修了の認定及び学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）
【博士前期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限・単位数等を満たし、修士学位論文または特定の課題についての研究の成果（特定課題研究論文）の審査及び最終試験に合格した者に対して、修士の学位を授与する。 (1) 社会学・文化人類学・社会情報学およびその関連する分野に関する高度な専門的知識を身につけている。 (2) 関連領域の専門的知識を基盤に、現代社会における諸問題を解明し、その解決を探究するための実証的研究を行う能力を身につけている。 (3) 研究倫理の重要性を理解し、研究成果を発信する能力を身につけている。 【博士後期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限・単位数等を満たし、博士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、博士の学位を授与する。 (1) 社会学・文化人類学・社会情報学およびその関連する分野に関する高度な専門的知識を身につけ、国内外の研究者と議論できる能力を身につけている。 (2) 関連領域の専門的知識を基盤に、現代社会における諸問題を解明し、その解決を探究するために、国際的な視点をもって独創的研究を遂行する能力を身につけている。 (3) 研究倫理の重要性を理解し、国内だけではなく海外で研究成果を発信する能力を身につけている。
2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
【博士前期課程】 (1) 教育課程の編成／教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成している。授業科目としては「基礎科目」「現代社会学コース科目」「社会文化共生学コース科目」「メディアコミュニケーション学コース科目」を設け、少人数制のきめ細かい体系的指導を通して、社会学・文化人類学・社会情報学および関連する分野の専門的知識と実証的研究方法を教授する。研究指導は、学生の研究テーマに応じて研究計画の段階から個別に指導にあたり、調査研究の実施、学会等での発表、修士論文も含めた論文の執筆を指導する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。 【博士後期課程】 (1) 教育課程の編成／教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目は「社会学特殊研究」「文化人類学特殊研究」「社会情報学特殊研究」を設け、少人数制のきめ細かい体系的指導を通して、社会学・文化人類学・社会情報学および関連する分野の高度な専門的知識と実証的研究方法を教授する。研究指導は、学生の研究テーマに応じて研究計画の段階から個別に指導にあたり、調査研究の実施、学会等での発表、博士論文も含めた論文の執筆を指導する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。
3. 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学希望者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 現代社会が直面している諸問題に関する知識のある者。 (2) 客観的かつ論理的にものごとを考え、自ら研究テーマを設定し研究を遂行していく能力のある者。 (3) 関連分野における専門的知識を身につけ、現代社会の諸問題を解明し、その解決のための施策を探究しようとする意欲のある者。 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学希望者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 社会学・文化人類学・社会情報学およびその関連分野における研究成果と実証的研究方法についての知識のある者。 (2) 国際的な視点に立って独創的な研究を遂行する能力のある者。 (3) 関連分野における高度な専門的知識と研究遂行能力を身につけ、現代社会の諸問題を解明し、その解決のための施策を探究し、社会に貢献しようとする意欲のある者。

社会科学研究科社会心理学専攻

1. 修了の認定及び学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） 【博士前期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限・単位数等を満たし、修士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、修士の学位を授与する。 (1) 国内・海外を問わず公表された、多様な社会心理学の研究成果を理解し応用できるための基本的な知識を身につけている。 (2) 社会心理学のさまざまな実証的研究方法を理解し、問題に応じた研究方法を立案・計画して実践する能力を身につけている。 (3) 研究倫理の重要性を深く理解し、高い倫理観のもとに人間社会を対象とした実証研究を行うことのできる技能を身につけている。 【博士後期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限を満たし、博士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、博士の学位を授与する。 (1) 国内・海外を問わず公表された、社会心理学の研究成果とその社会的意義について批判的に考察し、さまざまな視点から議論することのできる能力を身につけている。 (2) 現代の人間社会における諸問題について、社会心理学的観点から考察し、実証的研究へと展開することのできる洞察力を身につけている。 (3) 研究倫理の重要性を深く理解し、自ら高い倫理観をもって社会心理学の実証研究を行えるとともに、指導的立場から他者に伝えることのできる能力を身につけている。
2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） 【博士前期課程】 (1) 教育課程の編成／教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成している。授業科目では、社会心理学研究の前提となる基礎知識を学ぶ「基礎社会心理学」を1年次の春学期に開講する。また、社会心理学のさまざまな実証的研究方法を学ぶための「社会心理学研究法」を複数開講し、そのいくつかは「専門社会調査士」の資格認定科目に位置づける。社会心理学の研究成果を幅広く学べるように、さまざまな領域を対象とする「社会心理学特論」と「社会心理学演習」を開講し、選択的に学べるようにする。教員と学生の全員参加により総合的視点から研究内容を検討する「社会心理学総合研究」や、国際化対応のための「外国語表現法」も設置する。研究指導では、さまざまな領域を専門とする教員が、学生の研究テーマに応じて研究計画の段階からきめ細かく指導にあたり、研究の実施、学会等での発表、修士論文も含めた論文の執筆を指導する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。 【博士後期課程】 (1) 教育課程の編成／教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目では、さまざまな研究領域を対象とする「社会心理学特殊研究」で、専門分野を深く学べるようにする。教員と学生の全員参加により総合的視点から研究内容を検討する「社会心理学総合研究」も開講する。研究指導では、さまざまな領域を専門とする教員が、学生の研究テーマに応じて研究計画の段階からきめ細かく指導にあたり、研究の実施、学会等での発表、博士論文も含めた論文の執筆を指導する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。
3. 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 社会心理学が、個人と社会に関するどのような現象を研究対象としているのかについての知識のある者。 (2) 直観や常識だけに頼らずに、客観的かつ論理的にものごとを考えることのできる能力のある者。 (3) 社会心理学のさまざまな研究成果を学び、それに基づいて自らの研究テーマを深く探究しようとする意欲のある者。 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 社会心理学のさまざまな研究成果や、さまざまな実証的研究方法についての知識のある者。 (2) 国際的な視野に立って、自らの研究テーマを設定し、実証的研究を進め、成果を公表できる能力のある者。 (3) 社会心理学に関する高度な専門知識と研究遂行力を身につけ、研究や教育を通して社会に貢献しようとする意欲のある者。

社会学研究科福祉社会システム専攻

1. 修了の認定及び学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）
【修士課程】 本研究科・専攻における人材養成に関する目的および教育研究上の目的を踏まえ、以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限・単位数等を満たし、修士学位論文もしくは特定課題研究論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、修士の学位を授与する。 (1) 研究の基本的技能と、職業・人生経験を知的に再構成するうえでの実践知と理論に関する学習を修めている。 (2) 質問紙調査やケーススタディ、二次データの解析など、実証的な社会調査手法を修得している。 (3) 社会や労働、福祉、教育、文化などのシステムについての高度な知識を有している。 (4) 実践知と理論の間を自由に行き来し、現実の社会的・福祉的課題に関する具体的な解決・改善策の提案能力を備えた高度職業人として、または豊かな知的資源を有する社会人として、あるいは学際的な視点から社会・福祉領域の課題に取り組む研究者として、福祉社会の実現に貢献し得る資質を身につけている。
2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
【修士課程】 (1) 教育課程の編成／教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、社会学、社会福祉学を中心に、現代社会のさまざまなレベルでの複雑な事象や社会的な課題に取り組む研究を行う教員によって、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせ、専門性と学際性を兼ね備えた多様な教育・研究活動を展開する、高度かつ専門的なリカレント教育への要請や、実践知の探求、学際的な研究者の養成に合うカリキュラムを編成している。授業科目は、専門科目と基礎科目に区分し、基礎科目では、研究の基礎的スキルを学ぶ「研究基礎論」と、職業・人生経験を知的に再構成するうえでの実践知と理論の統合を目指す「実践知と理論」とを必修とし、その他、社会調査の方法論などを配置している。 研究指導では多様な学生の幅広い関心に基づきつつ、質問紙調査やケーススタディ、二次データの解析など、実証的な社会調査手法を重視した指導を行う。 教育方法においては、特に社会人学生のワーク・スタディバランスを考慮し、かつ、社会人学生の多様な学びを支援し、円滑な学位取得を実現するため履修モデルを設定し、柔軟性の高い修学プロセスのマネジメントを行う。 また、授業・研究指導を通して、ライフキャリアのさらなる発展にむけた、多角的かつ学際的な視点を養うとともに、現代社会における社会や労働、福祉、教育、文化などについての深い知識の獲得と、それに基づく具体的な対策の提案能力の習得を図る。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ① 授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ② 研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③ 学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。
3. 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
【修士課程】 高度かつ専門的なリカレント教育を求める職業人、人生経験の知的な再構成を求める社会人、研究職をめざす新卒生など、入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学希望者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した、夜間に通う必要がある者を受け入れる。 (1) 職業人・社会人については職業や人生における経験知を有する者、新卒者には社会学、社会福祉学はもとより隣接する社会諸科学・人文諸科学の基礎知識を学部教育において習得した者 (2) 職業人・社会人においては実践知を鍛え、ライフキャリアのさらなる展開にむけて、多面的・多層的なアプローチをおこなう資質や能力のある者、新卒者には広義の社会学、社会福祉学の研究課題に取り組む能力のある者 (3) 職業人・社会人および新卒者ともに、具体的な社会問題を踏まえた研究テーマに主体的に取り組むために、フィールド・リサーチの現場で多様な人々と協働して学ぶ態度を有する者

別表第3 教育課程

社会学研究科社会学専攻 博士前期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
基礎科目	選択	原書講読ⅠA	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	原書講読ⅠB	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	原書講読ⅡA	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	原書講読ⅡB	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	原書講読ⅢA	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	原書講読ⅢB	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	社会学特論Ⅰ	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	社会学特論ⅡA	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	社会学特論ⅡB	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	社会学特論ⅢA	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	社会学特論ⅢB	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	社会学特論ⅣA	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	社会学特論ⅣB	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	社会学特論Ⅴ	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	社会学特論Ⅵ	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	外国語表現法A	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	外国語表現法B	講義	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学特論ⅦA	講義	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学特論ⅦB	講義	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学特論ⅧA	講義	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学特論ⅧB	講義	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学特論ⅨA	講義	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学特論ⅨB	講義	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学特論ⅩA	講義	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学特論ⅩB	講義	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学特論ⅩⅠ	講義	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学演習ⅠA	演習	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学演習ⅠB	演習	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学演習ⅡA	演習	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学演習ⅡB	演習	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学演習ⅢA	演習	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学演習ⅢB	演習	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学演習ⅣA	演習	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学演習ⅣB	演習	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学演習ⅤA	演習	1～2	2	
現代社会学コース科目	選択	社会学演習ⅤB	演習	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅠA	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅠB	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅡA	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅡB	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅢA	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅢB	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅣA	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅣB	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅤA	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅤB	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅥA	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅥB	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅦA	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅦB	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論Ⅷ	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅨA	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学特論ⅨB	講義	1～2	2	
社会文化共生学コース科目	選択	文化人類学演習ⅠA	演習	1～2	2	

メディアコミュニケーション学コース研究指導	選択	社会情報学研究指導Ⅱ B		1～2		
メディアコミュニケーション学コース研究指導	選択	社会情報学研究指導Ⅲ A		1～2		
メディアコミュニケーション学コース研究指導	選択	社会情報学研究指導Ⅲ B		1～2		
メディアコミュニケーション学コース研究指導	選択	社会情報学研究指導Ⅳ A		1～2		
メディアコミュニケーション学コース研究指導	選択	社会情報学研究指導Ⅳ B		1～2		
メディアコミュニケーション学コース研究指導	選択	社会情報学研究指導Ⅴ A		1～2		
メディアコミュニケーション学コース研究指導	選択	社会情報学研究指導Ⅴ B		1～2		
メディアコミュニケーション学コース研究指導	選択	社会情報学研究指導Ⅵ A		1～2		
メディアコミュニケーション学コース研究指導	選択	社会情報学研究指導Ⅵ B		1～2		

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、在学中各2回（8単位）まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる。3回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修・聴講は、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、該当する科目は大学院要覧において定める。
- 履修方法3以外の「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、修了単位として認められるのは、最初に修得した成績および単位のみとする。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。
また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

社会学研究科社会学専攻 博士後期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	社会学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	社会学特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	社会学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	社会学特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	
	選択	社会学特殊研究ⅢA	講義	1～3	2	
	選択	社会学特殊研究ⅢB	講義	1～3	2	
	選択	社会学特殊研究ⅣA	講義	1～3	2	
	選択	社会学特殊研究ⅣB	講義	1～3	2	
	選択	社会学特殊研究ⅤA	講義	1～3	2	
	選択	社会学特殊研究ⅤB	講義	1～3	2	
	選択	社会学特殊研究ⅥA	講義	1～3	2	
	選択	社会学特殊研究ⅥB	講義	1～3	2	
	選択	文化人類学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	文化人類学特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	文化人類学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	文化人類学特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	
	選択	社会情報学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	社会情報学特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	社会情報学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	社会情報学特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	
	選択	社会情報学特殊研究ⅢA	講義	1～3	2	
	選択	社会情報学特殊研究ⅢB	講義	1～3	2	
	選択	社会情報学特殊研究ⅣA	講義	1～3	2	
	選択	社会情報学特殊研究ⅣB	講義	1～3	2	

社会学研究科社会学専攻 博士後期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	社会学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	社会学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	社会学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	社会学研究指導ⅡB		1～3		
	選択	社会学研究指導ⅢA		1～3		
	選択	社会学研究指導ⅢB		1～3		
	選択	社会学研究指導ⅣA		1～3		
	選択	社会学研究指導ⅣB		1～3		
	選択	社会学研究指導ⅤA		1～3		
	選択	社会学研究指導ⅤB		1～3		
	選択	社会学研究指導ⅥA		1～3		
	選択	社会学研究指導ⅥB		1～3		
	選択	文化人類学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	文化人類学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	文化人類学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	文化人類学研究指導ⅡB		1～3		
	選択	社会情報学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	社会情報学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	社会情報学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	社会情報学研究指導ⅡB		1～3		
	選択	社会情報学研究指導ⅢA		1～3		
	選択	社会情報学研究指導ⅢB		1～3		
	選択	社会情報学研究指導ⅣA		1～3		
	選択	社会情報学研究指導ⅣB		1～3		

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

2 指導教授は、主指導教授 1 名・副指導教授 1 名の計 2 名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が 2 名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に 3 科目（主指導教授 1 名・副指導教授 2 名）を上限として、履修・修得することができる。

3 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

社会学研究科社会心理学専攻 博士前期課程 授業科目

区分	必修・選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	基礎社会心理学	講義	1～2	2	
	選択	外国語表現法 A	講義	1～2	2	
	選択	外国語表現法 B	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学研究法 I A	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学研究法 I B	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学研究法 II A	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学研究法 II B	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学研究法 III A	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学研究法 III B	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学研究法 IV	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学研究法 V	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学研究法 VIA	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学研究法 VIB	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学特論 I A	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学特論 I B	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学特論 II A	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学特論 II B	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学特論 III A	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学特論 III B	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学特論 IV A	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学特論 IV B	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学特論 V A	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学特論 V B	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学特論 VIA	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学特論 VIB	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学特論 VII A	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学特論 VII B	講義	1～2	2	
	選択	社会心理学演習 I A	演習	1～2	2	
	選択	社会心理学演習 I B	演習	1～2	2	
	選択	社会心理学演習 II A	演習	1～2	2	
	選択	社会心理学演習 II B	演習	1～2	2	
	選択	社会心理学演習 III A	演習	1～2	2	
	選択	社会心理学演習 III B	演習	1～2	2	
	選択	社会心理学演習 IV A	演習	1～2	2	
	選択	社会心理学演習 IV B	演習	1～2	2	
	選択	社会心理学演習 V A	演習	1～2	2	
	選択	社会心理学演習 V B	演習	1～2	2	
	選択	社会心理学演習 VIA	演習	1～2	2	
	選択	社会心理学演習 VIB	演習	1～2	2	
	選択	社会心理学総合研究 A	演習	1～2	1	
	選択	社会心理学総合研究 B	演習	1～2	1	

社会学研究科社会心理学専攻 博士前期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	社会心理学研究指導ⅠA		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅠB		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅡA		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅡB		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅢA		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅢB		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅣA		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅣB		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅤA		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅤB		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅥA		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅥB		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅦA		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅦB		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅧA		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅧB		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅨA		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅨB		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅩA		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅩB		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅩⅠA		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅩⅠB		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅩⅡA		1～2		
	選択	社会心理学研究指導ⅩⅡB		1～2		

履修方法

- 1 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
 - 2 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
 - 3 主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、在学中各2回（8単位）まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる。
3回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修・聴講は、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、該当する科目は大学院要覧において定める。
 - 4 履修方法3以外の「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、修了単位として認められるのは、最初に修得した成績および単位のみとする。
 - 5 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。
- また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

社会学研究科社会心理学専攻 博士後期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	社会心理学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅢA	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅢB	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅣA	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅣB	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅤA	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅤB	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅥA	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅥB	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅦA	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅦB	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅧA	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅧB	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅨA	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅨB	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅩA	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅩB	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅪA	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学特殊研究ⅪB	講義	1～3	2	
	選択	社会心理学総合研究A	演習	1～3	1	
	選択	社会心理学総合研究B	演習	1～3	1	

社会学研究科社会心理学専攻 博士後期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	社会心理学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅡB		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅢA		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅢB		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅣA		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅣB		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅤA		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅤB		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅥA		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅥB		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅦA		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅦB		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅧA		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅧB		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅨA		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅨB		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅩA		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅩB		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅪA		1～3		
	選択	社会心理学研究指導ⅪB		1～3		

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に

3 科目（主指導教授 1 名・副指導教授 2 名）を上限として、履修・修得することができる。

3 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

社会学研究科福祉社会システム専攻 修士課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
基礎科目	必修	研究基礎論	講義	1～2	2	
基礎科目	必修	実践知と理論	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	現代社会論	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	社会調査論	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	研究方法論A（量的データの分析）	講義	1～2	2	
基礎科目	選択	研究方法論B（質的データの分析）	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	社会学的認識論A	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	社会学的認識論B	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	グローバリゼーションと現代社会A	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	グローバリゼーションと現代社会B	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	グローバリゼーションとボランティア・非営利組織論	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	地域と現代社会A	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	地域と現代社会B	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	教育システムと現代社会A	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	教育システムと現代社会B	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	雇用・労働システムと現代社会A	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	雇用・労働システムと現代社会B	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	キャリアデザイン論	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	ジェンダーと現代社会	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	子どもと現代社会	講義	1～2	2	
専門科目（社会学系）	選択	貧困と現代社会	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	高齢者ケアシステム論A	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	高齢者ケアシステム論B	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	ソーシャルワークと権利擁護論A	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	ソーシャルワークと権利擁護論B	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	多文化共生システム論A	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	多文化共生システム論B	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	グローバリゼーションと社会福祉	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	ケアマネジメントと地域包括ケアシステム論	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	スーパービジョン・実践評価論	演習	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	コミュニティケアシステム論	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	ソーシャルワーク論	演習	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	障害者ソーシャルワーク論	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	医療ソーシャルワーク論	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	精神保健福祉論	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	保険福祉サービスマネジメント論	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	医学と福祉・社会学的課題A	講義	1～2	2	
専門科目（福祉学系）	選択	医学と福祉・社会学的課題B	講義	1～2	2	

社会学研究科福祉社会システム専攻 修士課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	福祉社会システム研究指導ⅠA		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導ⅠB		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導ⅡA		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導ⅡB		1～2		

	選択	福祉社会システム研究指導Ⅲ A		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導Ⅲ B		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導Ⅳ A		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導Ⅳ B		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導Ⅴ A		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導Ⅴ B		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導Ⅵ A		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導Ⅵ B		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導Ⅶ A		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導Ⅶ B		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導Ⅷ A		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導Ⅷ B		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導Ⅸ A		1～2		
	選択	福祉社会システム研究指導Ⅸ B		1～2		

履修方法

1 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

2 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。

3 主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、在学中各2回（8単位）まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる。

3回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修・聴講は、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、該当する科目は大学院要覧において定める。

4 履修方法3以外の「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、修了単位として認められるのは、最初に修得した成績および単位のみとする。

5 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。

また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

別表第4 修了に必要な単位等

博士前期・修士課程

専攻	単位数等
社会学研究科社会学専攻	(1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。 (2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
社会学研究科社会心理学専攻	(1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。 (2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。

博士後期課程

専攻	単位数等
社会学研究科社会学専攻	主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
社会学研究科社会心理学専攻	主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
社会学研究科福祉社会システム専攻	(1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。 ただし、修士論文に代えて学則第12条の特定の課題についての研究成果により審査を受けようとする者は、修了要件となる科目で36単位以上修得すること。 (2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。 (3) 基礎科目 ①全体で4科目8単位以上修得すること。 ②必修科目2科目4単位を修得すること。 ③選択科目から2科目4単位以上修得すること。 (4) 専門科目 ①全体で6科目12単位以上修得すること。 ②社会学系から3科目6単位を修得すること。 ③福祉学系から3科目6単位を修得すること。

別表第5 教育職員の免許状取得のための授業科目及び単位数

社会学研究科社会学専攻 博士前期課程

高等学校教諭専修免許状（公民）・中学校教諭専修免許状（社会）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	科目名	単位数	履修方法
教科に関する科目	24単位	社会学特論Ⅰ	2	同一科目を複数回履修・修得した場合、初回に修得した単位のみ資格科目として認定される。
		社会学特論Ⅴ	2	
		社会学特論Ⅵ	2	
		社会学特論ⅦA	2	
		社会学特論ⅦB	2	
		社会学特論ⅧA	2	
		社会学特論ⅧB	2	
		社会学特論ⅨA	2	
		社会学特論ⅨB	2	
		社会学特論ⅩA	2	
		社会学特論ⅩB	2	
		文化人類学特論ⅠA	2	
		文化人類学特論ⅠB	2	
		文化人類学特論ⅡA	2	
		文化人類学特論ⅡB	2	
		文化人類学特論ⅣA	2	
		文化人類学特論ⅣB	2	
		文化人類学特論ⅤA	2	
		文化人類学特論ⅤB	2	
		文化人類学特論ⅥA	2	
		文化人類学特論ⅥB	2	
		文化人類学特論ⅦA	2	
		文化人類学特論ⅦB	2	
		社会情報学特論ⅠA	2	
		社会情報学特論ⅠB	2	
		社会情報学特論ⅢA	2	
		社会情報学特論ⅢB	2	
		社会学演習ⅠA	2	
		社会学演習ⅠB	2	
		社会学演習ⅡA	2	
		社会学演習ⅡB	2	
		社会学演習ⅢA	2	
		社会学演習ⅢB	2	
		社会学演習ⅣA	2	
		社会学演習ⅣB	2	
		文化人類学演習ⅡA	2	
		文化人類学演習ⅡB	2	
		社会情報学演習ⅠA	2	
		社会情報学演習ⅠB	2	
		社会情報学演習ⅡA	2	
		社会情報学演習ⅡB	2	
		社会情報学演習ⅣA	2	
		社会情報学演習ⅣB	2	
合計	24単位	—	—	

社会学研究科社会心理学専攻 博士前期課程

高等学校教諭専修免許状（公民）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	科目名	単位数	履修方法
教科に関する科目	24単位	基礎社会心理学	2	同一科目を複数回履修・修得した場合、初回に修得した単位のみ資格科目として認定される
		社会心理学研究法Ⅳ	2	
		社会心理学研究法Ⅴ	2	
		社会心理学特論Ⅰ A	2	
		社会心理学特論Ⅰ B	2	
		社会心理学特論Ⅱ A	2	
		社会心理学特論Ⅱ B	2	
		社会心理学特論Ⅲ A	2	
		社会心理学特論Ⅲ B	2	
		社会心理学特論Ⅳ A	2	
		社会心理学特論Ⅳ B	2	
		社会心理学特論Ⅴ A	2	
		社会心理学特論Ⅴ B	2	
		社会心理学演習Ⅰ A	2	
		社会心理学演習Ⅰ B	2	
		社会心理学演習Ⅱ A	2	
		社会心理学演習Ⅱ B	2	
		社会心理学演習Ⅲ A	2	
		社会心理学演習Ⅲ B	2	
		社会心理学演習Ⅳ A	2	
		社会心理学演習Ⅳ B	2	
		社会心理学演習Ⅴ A	2	
		社会心理学演習Ⅴ B	2	
		社会心理学演習Ⅵ A	2	
		社会心理学演習Ⅵ B	2	
合計	24単位	—	—	